

2025年度 第4回企画環境委員会 議事録

日時 令和8年3月9日(月)15時00分～17時00分

場所 よつば総合法律事務所

出席者

東條 史 (京葉支部)・相川 幸雄 (木更津支部)・溝口 次郎 (茂原支部)
飯田 利治 (東葛支部)・秋山 隆 (北総支部)・五木田 厚 (千葉支部)
辰野 方哉 (安房支部)・越川 和樹 (銚子支部)・齋藤 直文 (市原支部)

東会長より

先月、2月13日に行われた記念式典にご出席頂き有り難うございました。

事務局から3月6日に皆様へ3月2日、3日に開催されました活力研の報告動画をメールでお送りさせて頂いておりますのでご確認下さい。

先月、2月25日にDR.全国大会があり出席致しました。

金融庁は共済、農協は管轄でなく我々の体制整備とのズレがあるので統一していくべきではないか?との話しがあった。

1. 2025年度第4回日本代協企画環境委員会報告

松本委員長挨拶より

自己点検チェックシートについて来年度からの本格導入を見据えアンケートを実施した。その内容について議論したい。自己点検チェックシートは非常に重要な位置づけにあります。ご理解頂きたいのは決して高いレベルの基準でなく、金融事業者として最低限実施すべき事項を整理したミニマムスタンダードであるという点である。本来我々が競争すべき領域はそのさらに上にあるものと考えている。現在は業界の転換期にあり、自己点検チェックシートが基礎として求められる状況であるが、これは我々にとって出来て当たり前の前提条件であるべきものである。その上で高いサービス品質を構築していくことこそが、これからのプロ代理店に求められる役割と考えている。その中で今、企画環境委員会の中でやっている価値向上策は必要不可欠だと確信しているのでしっかりと継続的な情宣・普及をお願いしたい。

報告事項・情報共有

松本委員長より 2026 年度の推進事項の説明が行なわれた。

今年度と推進事項に大きな変更点はなく代理店価値向上策の積極推進、公平公正な募集環境の構築を推進していく予定だが 2 月の理事会、3 月の臨時総会で承認されて確定される者である。企画環境委員会の取組みの中で一つ増える要素があるとするサイバーリスクに関する取組みについてである。ジギョケイの中でもいわゆるサイバーリスクによる事業中断を取り入れていく必要があるためジギョケイの推進とともにサイバーリスクの普及を行なっていくものと思われる。

募集現場の実態のモニタリング

- ・ドコモの児童書保険での保険見積り（クーポンプレゼント）、契約（デジタルギフトプレゼント）更に契約によるポイント付与は不公正募集ではないか。これらを保険会社主導でコンプラ違反と思われる案内を大々的に宣伝するのはいかがなものか。こちらについてはノベルテイの範囲の判断と思われるとの回答があった。
- ・近所の保険代理店では車両保険を満額つけられないとの悪質なトークをしている
- ・ディーラーや銀行による抱き合わせ販売、大口団体割引適用は不公正募集ではないか。早急に対応に対応して欲しいとの意見があった。
- ・代車特約期間を超過する入庫に対して保険を切替えたら超過期間の代車を無料にするといった抱き合わせ販売。

審議事項

代理店の価値向上策（社労士診断認証制度推進）取組み状況確認

阿部副委員長より

当社では社労士診断認証制度を活用して社内規則の改定を行い助成金として 4 項目計 120 万円の支給を受けることが出来た。また助成金セミナーを開催し 36 社が参加 12 社が助成金を申請して喜ばれた。しかし、この制度は助成金をもらうための取組みではなく、新入社員の採用につなげ、お客様への情報提供を行なうことが目的である。

（主な意見）今、金融庁は我々保険代理店に対して一企業として自立して欲しいと思っているのではないかと感じている。自己点検チェックをみても、企業としての社内整備を求めているのではないだろうか。

来年度は労働基準法が 40 年ぶりの大改正となり 10 月にはカスハラ対策が義務化される。カスハラについてはメンタル問題で人事労務に影響があることなので自社で対策をたてるのは当然のことでありお客様に対してもリスク情報として提供していくべきだと思っている。我々が労働基準法の全てをおぼえる訳にいかないが社労士診断を使うことによってお客様に人事リスクについて認識して頂きそれを保険契約につなげて頂きたいと思っている。

その時、横に社労士がいると強みになるので優秀な社労士と提携することが差別化になる。

代理店の価値向上策（ジギョケイ推進）取組状況確認

（主な意見・取組み事例）

- ・宮城では昨年まではジギョケイ取得に対する補助金制度があったので積極的に推進できたが今年は補助金制度がなくなってしまったので動きが止まってしまった。
- ・フリート契約者が商工会のジギョケイセミナー（講師が他社代理店）に参加し、ジギョケイ申請サポートを機に契約を取られてしまったという逆成功事例があった（取られた代理店はなぜもっと早く情報提供をしなかったのかと悔やんでいる）

代理店の価値向上策（リスクマネジメント講座推進）取組状況確認

村松副委員長より

保険業法やコンプライアンスの観点もあるが現在、金融監督局においてはリスクマネジメントを活用した提案を行なうことを求めている。その為、各自がリスクマネジメントについて一定の知識を習得し、それを保険提案に活かしていくことが必要であると考えている。

（主な意見・好事例）

日本アカデミーを受講する事でリスクマネジメント講座の受講料が割引になる点については、毎回周知している。しかしながらリスクマネジメントの必要性が優先事項として十分認識されておらず、受講検討の段階に入っていない会員が多いように思う。

代理店の価値向上策（JSA-S1003 推進）取組状況確認

松本委員長より

JSA-S1003 も目に見えない価値である。自己点検チェックシートはダイレクトに手数料ポイントに反映するかもしれないので価値が見やすいと思うが、品質というのは何かを基準にしないとなかなか測れないものなのである。挙績や数字が人格だと言われてきた業界であり、数字は見ればわかるが、品質には測る物差しがない。その物差しの一つとして JSA-S1003 などを活用頂きたいと思っている。

自己点検チェックについて

代協として何を手伝っていけるのか、おそらく求められているのはひな形だと思うがそれは作成しない。各委員会でも自己点検に向けての動きがあるようだが同じ事をやってもしょうが無いのでこれから代協全体としての取組みと位置付けるのであれば、各委員会と手を取り合っていくのがベストだと思っている。

松本委員長より

自己点検チェックシートが出来たから全てではない。長い時間軸の中で継続的にレベルアップを図っていくという前提で取組んで頂きたい。

2. 支部活動報告

茂原支部（溝口委員）

2月4日いすみ市商工会であいおいニッセイ同和損害保険（株）に協力という（以下、AD社と記載）形でジギョケイセミナーを行なった。勝浦商工会も来て頂いた。次回は6月頃を開催めどにしてすすめていきたい。

安房支部（辰野委員）

3月20日に献血活動がある。4月10日に総会がある。ジギョケイについては5月か6月に開催したい。

北総支部（秋山委員）

4月9日に総会を行なう。5月21日にAD社と成田商工会でワークショップを行なう。

市原支部（齋藤委員）

1月27日ワークショップが行なわれていたがAD専業がメインでやっていた。

11社が参加していた。チラシに代協の名前が載っていなかった。

千葉支部（五木田委員）

千葉支部が主体となって商工会にジギョケイの話を持っていった。総務部長が対応してくれて6月中旬頃を目処に開催を予定しAD社が乗っかる予定。

銚子支部（越川委員）

委員が替わるので引き継ぎをする。次の委員は株式会社ユナイトの岡田さんになる。

東葛支部（飯田委員）

AD支社長と話をすすめて3月26日に流山商工会でジギョケイセミナーを開催することとなった。役員会は明日開催予定。

木更津支部（相川委員）

2月18日市原支部・茂原支部・木更津支部で合同セミナーを開催した。3月26日に役員会を開催予定。

京葉支部（東條委員）

AD社から連絡があり来社予定。10月開催を予定している。船橋市公民館で2月18日に賠償セミナーを行なった。

3. 不公正募集について

市原支部（齋藤委員）

当社のお客様がディーラーから保険に入らないと車を納車しないとの案件がある。

現在、顧客に事案の情報開示しても良いか確認している。

茂原支部（溝口委員）

不公正事案の事例を出して欲しい。また出した後のフィードバックが欲しい。

4. 新年度の取組みについて

大森委員長より

ジギョケイのワークショップについては引き続き AD 社と協力しながらすすめていき
たいが千葉支部のように代協主催という形態を増やしていけたらと考えている。

また日本代協の動向を見てサイバーに取り組むことになるので承知して頂きたい。

尚、ジギョケイ以外の新たな取組みとして社労士診断認証制度に力を入れて取組んで
いきたいと思う。日本代協でも成功事例の報告があるため千葉代協として推進してい
きたい。

5. その他

次回開催日時

場所 よつば総合法律事務所

日時 令和8年6月頃開催予定。後日、決定し報告する事とした。

以上

議事作成人 大森 滋